

「こどものみらい古本募金」への寄付の御礼について

～ご来店の皆さまから寄せられた本が **1200 冊** を超えました！～



▲一般社団法人チョイふる様へ寄贈



▲一般社団法人こども食堂支援協議会様へ寄贈

当金庫では、2023年6月15日(信用金庫の日)より、不用品の寄付を受け付ける「おせっかいボックス」を全店・プラザの店頭を設置し、以下の3つの取組みを行っています。

- ① フードドライブ(家庭で余っている食品を地域の福祉団体や施設などの寄付する取組)
- ② こどものみらい古本募金(不要になった本の買取査定額を『こどもの未来応援基金』に寄付する取組)
- ③ サニタリーポスト(家庭環境や経済的な理由などにより生理用品の購入ができない女性へ、足立区NPO活動支援センターなどを通じて寄付された生理用品を配付する取組)

今般、上記②に関して、来店されたお客さまから寄せられた本の総数が**1200冊**を超えました。(2024年8月現在)
「おせっかいボックス」をきっかけに来店していただくお客さまも多くいらっしゃり、当金庫のSDGsに関する取組の拡がりを実感しています。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

当金庫では、今後も「地域の未来づくり」のために“おせっかい”を続けてまいりますので、引き続きご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

寄せられた本に関しては当金庫で選別をし、下記のとおり寄付しております。

※「10年以上前に出版されたもの」や「書込みがあるなど保存状態が悪いもの」、「ISBNがないもの」などについては査定できないケースが多いため選別を行っています。

- 査定対象内になる本は、買取査定に出して査定額を「こどもの未来応援基金」へ寄付
(この取組は、全国の信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫が取りまとめを行っており、2024年6月末時点で**58金庫**が参加しています。全金庫での累計実績として、寄付冊数は3万4千冊以上となり、170万円以上の寄付を行っています。)
- 査定対象外になる本のうち、児童書は地域の児童福祉団体等への寄贈(上記写真参照)、それ以外については別の古本買取事業者へ査定を依頼し、査定額を「あだち子どもの未来応援基金」へ寄付